

国立高校 (東京)



2 1



1 富川悠太さんの司会で、俳優の六平直政さん(1974年卒)や草村礼子さん(56年入学・中退)が軽妙なトークを聞かせた。2 「大人の国高祭2014」で若手研究者たちと激論を交わす、山極壽一京大総長。3 高水準の芝居を高校3年生が見せる「国高祭」

電通も巻き込んだ一大イベント



3

「人脈」という財産

ジャーナリスト・鈴木隆祐

社会に出ても役に立つ

高校同窓会の結束力

名

門校の条件とは有名無名を問わず、一隅を照らすような人物をどれだけ輩出しているかということだろう。そしてさまざまな分野で活躍する卒業生たちが同窓会で結び付くことによって、新たな化学反応が生まれる。

東京都立国立高校の同窓会は2010年11月、「大人の国高祭」と銘打った大イベントを開催した。

第1部の講演会では政治評論家の三宅久之さん(故人)が辛口説法を展開。第2部のステージでは、現在は「報道ステーション」(テレビ朝日)のキャスターである富川悠太さんが司会を務め、俳優の草村礼子さんや六平直政さんが登場する(写真①)など、卒業生の多彩さと厚みを感じさせる内容だった。

仕掛けたのは大物OBたちだ。当

時の同窓会長だった山田宏参議院議員は、広告制作会社サン・アドの青木美輝社長、電通のクリエーティブ部門の重鎮、木下一郎さんと同級生。飲み会の席で「母校70周年を盛大に祝いたい」という話が山田さんから出て、「じゃあ、いつそのことテレビCMを放送しよう」と青木さんらが応じ、トントン拍子に運んだ。

幸い、電通には国立OBが多かった。同窓会事務局には、房総の海の家を処分しプールしていた資金もあった。準備に1年を費やして制作したCMはテレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」枠内で流され、朝日新聞にも一面広告を出した。一つの高校の同窓会としては前代未聞の規模の宣伝だった。

その結果、会場となったホテルの収容人数700人を大きく超える1

主な出身者

作家
志茂田景樹
第一生命保険会長
斎藤勝利
衆議院議員
坂井 学
東京大学准教授
池内 恵
法政大学教授
小黒一正

7000人の参加応募があり、スタッフたちもうれしい悲鳴を上げた。国立の通常同窓会出席者は60代以上が大半を占める。だが大人の国高祭は約7割が10～50代と、幅広い世代の交流が深まった。

同窓会事務局幹事長の柴沼君曉さんは、大人の国高祭の成功について「現役生たちの国高祭の勢いがOBたちに環流した」と分析する。

文化祭が活発 3年生は全員演劇

国立はもとも文化祭が盛んな高校だ。目玉は3年生の全クラスが行う演劇で、非常に評判が高い(右「写真③」)。「演劇に憧れて入学し、都心部から通う生徒もいる。そしてすべて終わると、一転して受験準備にいそしむ。うちの子たちは集中力が違う」と岸田裕二校長は言う。

国立は3年間クラス替えがなく、演劇という総合芸術を濃密な人間関係の中で築き上げ、結束も強固となる。その結果として国立難関4大学(東京大学、東京工業大学、一橋大学、京都大学)の合格者は計64人

(浪人含む。16年)という実績を誇る。

大人の国高祭は13年と14年にも開催された。10年に参加できなかったOB・OGの中から、より若い層中心の催しをやるとういう動きが生まれたからだ。

14年の実行委員長を務めた北川健太さんは「広告代理店も入ると、どうしても手作り感が薄れる。自分が30歳を迎えた節目ということもあり、もっと小規模で、継続性のある

大泉高校 (東京)

1 現在は附属中学校が併設され、中高一貫になった。2 附属中学向けの職業ワークショップに登壇して熱く語る、同窓会理事の平井秀明さん



池上彰を出した 自由闊達な校風

イベントにしようと始めた」と語る。

14年のトークセッションに登場したのは、当時京大総長に就任したばかりの山極壽一さん(右「写真②」)。山極さんは板についた関西弁を交えながら、高校時代を振り返る。

「(1967年導入の)学校群制度の1期生やったのが大きいな。どこに入学させられるかわからない。うちの学区は立川・国立とレベル的に

主な出身者

衆議院議員
亀井静香
運輸政策研究所所長
杉山武彦
ジャーナリスト
池上 彰
作詞家
森 雪之丞
アナウンサー
宇賀なつみ

開きの少ない2校があったので、都心部から越境してくる子が多かったんや。その越境組が論議を吹っかけたり、とかく上からの態度なんや。で、こちらもナニクソと思うわけ。競争意識は自然と芽生えたね」

これが国立のその後のアイデンティティになったのではないかと山極さんは見る。

大人の国高祭は現在中断しているが、国立は20年に創立80周年を迎える。「東京五輪もある節目でまた何かやりたいという機運が高まっている。若い卒業生も加え、より創造的な催しに発展させたい」と同窓会事務局幹事長の柴沼さんは語る。

こうしたつながりが、仕事など社会で役立つことも少なくない。

前出の14年実行委員長の北川さんはフリーの建築家だ。「先日も高校時代の仲間から家の改修を頼まれて済ませたばかり。ハウスメーカーの家でも、家具はオリジナルでそろえたいなどの相談もよく受けます。お客さんが同窓生だと肩入れしてもらえ、横に縦に関係をつないでもらえるビジネスの効果は感じますね」。

ジャーナリスト池上彰さんを出した都立大泉高校も自由闊達な校風で知られる。OBの平井秀明さんは同